

みずほCustomer Desk Report 2017/10/05 号(As of 2017/10/04)

【昨日の市況概要】

【昨日の市況概要】				公示仲値		112.61
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	112.85	1.1748	132.57	0.9732	1.3241	0.7835
SYD-NY High	112.93	1.1788	132.84	0.9761	1.3292	0.7875
SYD-NY Low	112.32	1.1735	132.25	0.9710	1.3235	0.7830
NY 5:00 PM	112.76	1.1759	132.59	0.9751	1.3248	0.7862
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)			8.84/9.24	△ 25RR	1.590	Yen Call Over
NY DOW	22,661.64	19.97	債券市場	日本2年債	-0.1310	▲ 2.2bp
NASDAQ	6,534.63	2.91		日本10年債	0.0550	▲ 1.9bp
S&P	2,537.74	3.16		米国2年債	1.4711	0.0bp
日経平均	20,626.66	12.59		米国5年債	1.9162	-
TOPIX	1,684.56	0.10		米国10年債	2.3229	-
シカゴ日経先物	20,700.00	▲ 5.00		独10年債	0.4530	▲ 1.0bp
ロンドンFT	7,467.58	▲ 0.53		英10年債	1.3780	2.5bp
DAX	12,970.52	67.87	為替市況	豪10年債	2.8070	▲ 3.4bp
ハンセン指数	28,379.18	205.97		USD/CNH	6.6487	▲ 0.0177
上海総合	-	-		ドルインデックス	93.46	▲ 0.11
USDJPY 3M Vol	9.01	▲ 0.09%	商品市況	CRB指数	181.291	0.39
USDJPY 6M Vol	9.28	▲ 0.08%		NY金	1,276.80	2.20
EURJPY 3M Vol	8.85	▲ 0.29%		WTI	49.98	▲ 0.44
EURJPY 6M Vol	9.31	▲ 0.26%		Dubai Spot	53.97	▲ 0.61

東京	朝方のドル円は112円台後半での底堅い推移が続く中、一時112.90まで上昇。東京時間は112.85レベルでオープン。前日からの低下基調を引き継ぎ米長期金利がじりじりレベルを下げると、全般的にドル売り地合いとなりドル円は112円台半ばまで急落。その後112円台半ばでの横ばい推移となるも、午後に入り前日比プラス圏で推移していた日経平均がマイナス圏に反落するとドル円もじり安の展開となり112.41まで下落。日経平均はプラス圏に再浮上するもドル円の上値は重く、結局112.49レベルでクローズした。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は112円台前半から半ばで上値重く推移。朝方は112.49レベルでオープン。ロンドン午前8時に向け全般的にドル買戻しの流れとなり、ドル円もつれ高となりロンドン高値112.65まで小幅に上昇したものの、勢い続かずしばらく112円台半ばでもみ合い。欧州時間序盤から米金利が再び低下するとドル円の上値も更に重くなり、ドル円はこの日の安値となる112.32まで下落し、112.38レベルでNYへ渡った。ポンドドルは1.32台半ばから後半でもみ合い。朝方は1.3277レベルでオープン。序盤の一時的なドル買いを受けロンドン下値1.3245まで下落したものの、その後発表された英9月マークイットサービス業PMI、コンボジットPMIが共に市場コンセンサスより強い結果となるとポンドが上昇。中盤からのドル売り戻しの流れも相俟って、ポンドドルはロンドン高値1.3289まで上昇し、1.3271レベルでNYへ渡った。(ロンドン7時 00531 444 179 日比野)
ニューヨーク	海外時間に米通信大手がパウエル理事が次期FRB議長のフロントランナーと報道したことから、先日噂されていた別の候補者ウォルシュ元理事と比べる上利上げに慎重でハド派との見方からドル売りが優勢となり、ドル円は112.34まで下落し、112.38レベルでNYオープン。朝方は米9月ADP雇用統計が予想通り内容となり、ドル円の反応は限定的となるが、低下していた米金利が反発する動きにドル円もじりじりと上昇し、米9月ISM非製造業景況指数が予想を上回ったことから112.90まで上伸。内容的にはハリケーンの影響で入荷遅延指数が急上昇したものの、新規受注や雇用指数が上昇したことからハリケーンの影響は限定的との見方から、その後は狭いレンジでの推移。この日の高値となる112.93まで一時上昇する場面もあったが、その後は調整の動きにややレベルを下げる。午後は、イエレン議長がイベントで開会の挨拶をしたものの、金融政策や米経済について言及はなかったことからドル円相場への反応は薄く、狭いレンジでの推移が続く112.76レベルでクローズした。一方、海外市場でドル売りが強まったことからユーロドルは1.1788まで戻し、1.1780レベルでNYオープン。朝方は米金利上昇やISM非製造業景況指数結果を受けドル買いが優勢となったことから1.1747まで反落する。その後は新規材料に欠ける中、1.1760付近での開散な推移が続く。1.1759レベルでクローズした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:高野・鶴田

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月4日	16:55	独 マークイットPMI(サービス業/コンボジット)・確報	9月 55.6/57.7	55.6/57.8
	17:00	欧 マークイットPMI(サービス業/コンボジット)・確報	9月 55.8/56.7	55.6/56.7
	17:30	英 マークイットPMI(サービス業/コンボジット)	9月 53.6/54.1	53.2/53.8
	18:00	欧 小売売上高(前月比/前年比)	8月 -0.5%/1.2%	0.3%/2.6%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	- -0.4%	-
	21:15	米 ADP雇用統計	9月 135K	135K
	22:45	米 マークイットPMI(サービス業/コンボジット)・確報	9月 55.3/54.8	55.1/-
	23:00	米 ISM非製造業景況指数	9月 59.8	55.5
10月5日	04:15	米 イエレンFRB議長 講演	-	-

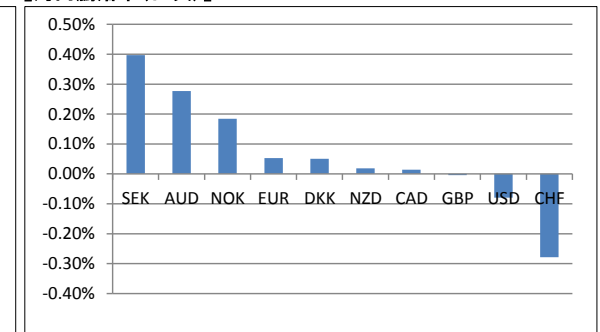
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月5日	08:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	09:30	豪 貿易収支	8月 \$850M	\$460M
	09:30	豪 小売売上高(前月比)	8月 0.3%	0.0%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 265K	272K
	21:30	米 貿易収支	9月 \$-42.7B	\$-43.7B
	22:10	米 パウエルFRB理事 講演	-	-
	22:15	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-
	23:00	米 ハーカー・フィラデルフィア連銀総裁 講演	-	-
	23:00	米 耐久財受注(前月比)/同(除く輸送用機器・前月比)・確報	8月 1.7%/-	1.7%/0.2%
10月6日	05:30	米 ジョージ・カンザスシティ連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.30-113.10	1.1730-1.1810	132.00-133.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外市場でのドル/円は112円台後半まで反発した。アジア時間に米金利の低下に連れて112円台半ばまで下落したドル円は、ロンドン時間でも上値を重く推移し、一時112.32まで下落。NY時間に発表された米ADP雇用統計に対するドル/円の反応は限定的となるも、その後の米ISM非製造業景況指数の強い結果を受け、一時112.93まで反発。イエレンFRB議長によるイベントでの開会挨拶は特設金融政策について触れられず、結局112.76付近でクローズした。本日のドル/円は既往レンジ内での揉み合いを予想する。中国、韓国、香港等のアジア諸国が祝日で休場となることに加え、明日の米雇用統計を前にアジア時間は比較的落ち着いた相場となりそうだ。